

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
5月10日
第41号



コウホネ（スイレン科）

園内水生植物区内の池の中に黄色の花を咲かせ始めました。日当たりの良い沼、小川に自生する多年草です。泥中の根茎は横に這い、白骨のように見えます。生薬としては、この根茎を用い、センコツ（川骨）と呼びます。根茎の中は白い海綿質で、わずかに苦い味がするようですが、私は食べたことはありません。植物としての漢名は「萍蓬草（ヒョウハウソウ）」と呼びますが、中医学では使用されない日本固有の生薬原料です。『和漢三才図絵』には「産前産後の婦人薬としてのみならず、金瘡、折傷に威力を発揮する」とあり、止血、活血薬とされ、漢方医学では「治打撲一方」に処方されています。

ネズミモチ（モクセイ科）

園内育苗室の隣で生垣になっており、白い小さな花は独特の臭いがします。本州の関東以西に生える常緑樹でモチノキに似ています。同属のトウネズミモチとの見分け方は、本種は葉を太陽に透かしても葉脈が見えませんが、トウネズミモチは葉脈が見えることで判別します。晩秋、果実が熟すと黒くなり、ネズミの糞に似ているので、モチノキ+ネズミでネズミモチと名付けられたとか。

生薬としては、果実を「女貞子（ジョテイシ）」と称し、民間薬として利尿、強壮、強精などの目的に使用され、中医学でも滋陰薬として使用されますが、漢方医学では使用されません。

今、こんな草木がたのしめます。 **待ってまーす！！**